第３回総合計画審議会（全体会）

― 議事録（要旨）―

■日時：令和６年９月３０日（月）１４：００～
■場所：糸島市役所　市民ホール

（出席委員）

高野会長、吉岡副会長、松尾委員、野村委員、外山委員、波多江委員、宗委員、坂井委員、三谷委員、古相委員、辰巳委員、花田委員、能本委員、久保田委員、月川委員、財津委員、伊原委員

（事務局）糸島市

経営戦略部　中村部長
企画秘書課　吉村課長、下尾課長補佐、合六主任、中島主事

【議事概要】

■　全体会

１　開会

２　会長挨拶

・ 高野会長によるあいさつ
・ 進行を高野会長へ
　以下、高野会長による議事進行

３　実施要領について

（事務局より説明）
・ 質疑意見等なし

■　部会

４　協議事項

- 基本目標１　未来社会で輝く子どもを育むまちづくり
- 基本目標２　人と人がつながり助け合うまちづくり
- 基本目標３　みんなの命と暮らしを守るまちづくり

・各部会に分かれて審議

■　全体会

５　全体共有

・各部会長からの報告

➢　基本目標１　未来社会輝く子どもを育むまちづくり

■　古相部会長

- 政策（１）子育ち・親育ちの支援の充実　施策①安心して生み育てられる環境の充実

  施策の基本方針❶「～保育士への～」という表記について、「保育者」という表記に修正いただきたい。「保育士」は保育園だけのため、すべてを包括できる「保育者」とする。

- 政策（１）子育ち・親育ちの支援の充実　施策②妊娠から出産・子育ての切れ目のない支援

  主な取組に対するまちづくり市民委員会の意見として、「産後ケアの周知」の他、情報の周知に対する意見が多数出ている。様々な事業に取り組んでいるにも関わらず、情報周知不足により市民が情報を得づらい状況があるのではないか。もっと市民にわかりやすい形の情報の周知が必要である。

- 政策（２）保育・学校教育の充実　施策④安全・安心に学習できる教育環境の整備

  主な取組（２）フリーアドレス導入について、フリーアドレスよりＤＸ化を優先するべきではないか。「ＩＣＴ等を活用しながらＤＸ化を推進する」として取組に掲げた方がいいと考える。

- 政策（３）切れ目のない学習機会の充実　①生涯学習の推進とスポーツの振興

  現状と課題①に「図書館利用者が減少」とあるが、子ども図書館がないため、子どものスペースを作る等、親子で来館できる取組を実施していただきたい。また、スペースの問題として、子どもの自習スペースが足りないといった意見が出た。図書館や図書館以外でも学習スペースを確保する取組を実施していただきたい。

- 政策（３）切れ目のない学習機会の充実　②青少年の健全育成

  主な取組（２）について、地域コミュニティセンターを活用しながら取組を実施できるよう「地域コミュニティセンター」の追記を検討いただきたい。

➢　基本目標２　人と人がつながり助け合うまちづくり

■　高野会長

- 政策（１）コミュニティの活性化　施策①地域コミュニティの機能強化

  用語として、「地域リーダー」「担い手」等、様々な言葉が混在しているため、用語を整理していただきたい。

  主な取組（１）「自治会加入の促進と行政区（自治会）の負担軽減等による地域の担い手不足解消」は自治会の加入を促進していくことと、行政区の負担を軽減していくことの２つの意味合いが

あるため、糸島の具体的な状況を意識しながら、検討していく必要があるのではないか。例えば、負担軽減について、いきなりＤＸ化やメタバースといった飛躍した取組をするのではなく、携帯電話の普及とともにＬＩＮＥを使った連絡・情報共有の仕組みを作っていくといったところから始めて、実現可能な方法を考えていくことが必要ではないか。自治会活動に参加することで次につながるため、自治会活動の最初のハードルをいかに下げていくのかという視点から考えていく必要があるのではないか。

- 政策（１）コミュニティの活性化　施策②ＮＰＯ・ボランティアの育成

  主な取組（１）「ボランティア団体の情報発信やイベント開催等によるボランティア活動への参加促進」について、ボランティアの養成や、ボランティア活動の研修を行ったとしても、実際に活躍する場が不足していてボランティアのモチベーションが下がってしまうという現実がある。そのため、参加募集の促進と、活躍の場の促進を併せて取組んでいただきたい。

- 政策（２）人口減少地域対策　施策①移住・定住の促進

  施策の基本方針❶「人口減少地域への子育て世代の移住促進、子世代の「帰糸」誘導策に取り組む」とあり、「帰糸」とは、進学や就職を機に、Ｕターンする人たちを考えていくということである。糸島出身ではない方の移住も増えているが、地域を支えてきた、これからも支えていくことが期待されるＵターンする人たちに対する対策と、二本立てで考えていくことを検討いただきたい。

- 政策（３）男女共同参画・人権・多文化共生の推進　①男女共同参画社会の推進

  男女共同参画における地域の区長等の役職への女性登用人数について、糸島の実態に即したデータの取り方を検討していただきたい。

- 政策（３）男女共同参画・人権・多文化共生の推進　②人権が尊重される社会の推進

  糸島市では、平成 29 年から令和 4 年の外国人増加率が日本一であり、現在 1,883 人の方が住まれており人口の 1.8%、過去最高だという状況である。外国人といっても九州大学の留学生、技能実習生、福祉施設で働かれている方等もいるため、多様な外国人の方を想定した取組を一括りにせず考えていただきたい。

➢ 基本目標３　みんなの命と暮らしを守るまちづくり

■ 三谷部会長

- 政策（１）災害対策　施策①地域の防災力の強化

  防災士や自主防災組織をきちんと整理しながら強化していくことが必要だろうという意見で、概ね素案どおりの形でまとめた。

- 政策（１）災害対策　施策②防災・減災基盤の整備

  社会基盤を含めた施設の整備の部分についても、この中に明記すべきという意見が出された。

  主な取組（４）原子力防災訓練について、施策①防災力強化の方に入れていただきたい。

● 政策（２）消防・救急の充実　施策①消防力の強化

課題の中に、「消防団員の減少」を追記し、それに対する取組を検討いただきたい。

● 政策（２）消防・救急の充実　施策②救急体制の充実

まちづくり市民委員会からの意見である感染症の話について、感染症の対応はまず、国として施策や対策がとられるため、市としてはそれに沿って対応するため、この施策の課題としては追記しない。

● 政策（３）防犯・交通安全の推進　施策①地域の防犯力の向上

高齢者等が犯罪に巻き込まれるケースが増加しているため、施策の課題として追記することを検討いただきたい。

● 政策（３）防犯・交通安全の推進　施策②交通安全対策の強化

取組として、まちづくり市民委員からも意見が出ている歩道やカーブミラー等、施設の部分について追記した方がいいのではないか。

現状の課題の中に、週末に市外から糸島を訪れるドライバーのマナーが悪いことについて、現状と課題に追記することを検討いただきたい。

● 重点課題２　防災・減災対策　市民一人ひとりの防災力が高いまち“いとしま”プロジェクト

取組として、防災の意識を高めるために、例えばボランティアなどの実体験を通したような防災力の向上や、ホームページよりもＳＮＳを活用した災害・防災情報を発信することも検討いただきたい。

・質疑意見等なし

６　報告事項

・行政改革推進委員会における「行政経営戦略」の検討状況報告

・野村委員による報告

・質疑意見等なし

７　その他

・事務局から今後のスケジュールに関する説明

・質疑意見等なし

８　閉会

・吉岡副会長による閉会のあいさつ

（終了）